

令和6年度実施 名古屋市公立学校教員採用選考試験 試験問題の誤りについて

令和6年6月15日(土)に実施しました、教員採用選考試験 専門「中学社会」、「理科」、「商業」の試験問題の一部に下記のように誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

下記の問題につきましては、該当する受験者全員を正解とし、その結果を基に選考します。
なお、1次試験の選考結果は、7月中旬に、受験者全員に通知します。

記

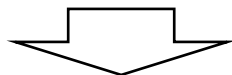
誤りの内容(下線部)

・ 中学社会

(誤)4(2)日本が11月1日の午後8時のとき、〔資料1〕のaの都市は10月31日の午前3時であった。このことをふまえ、aの都市の時刻を決める基準となっている標準時子午線として最も適するものを、次の1～4から1つ選び、番号で答えなさい。 22

1 東経 60 度 2 東経 120 度 3 西経 60 度 4 西経 120 度

正答 なし



(正)4(2)日本が11月1日の午前8時のとき、〔資料1〕のaの都市は10月31日の午後3時であった。このことをふまえ、aの都市の時刻を決める基準となっている標準時子午線として最も適するものを、次の1～4から1つ選び、番号で答えなさい。なお、サマータイムは考慮しないものとする。 22

1 東経 60 度 2 東経 120 度 3 西経 60 度 4 西経 120 度

正答 4

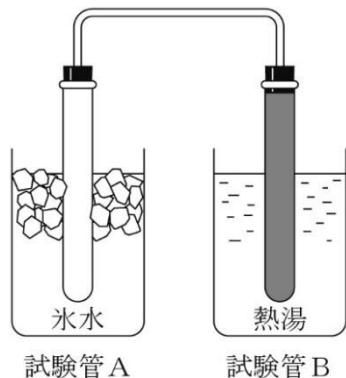


図7

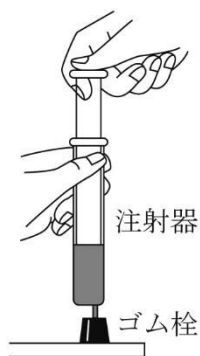


図8

7(1) 実験 I において、試験管Aの方が赤褐色が濃くなりました。このとき二酸化窒素が多く含まれている試験管はどちらですか。また、式①で右側に進行する反応は、発熱反応、吸熱反応のどちらですか。二酸化窒素が多く含まれている試験管と反応の種類のみ組み合わせとして最も適するものを、次の1～5から1つ選び、番号で答えなさい。 22

	二酸化窒素を多く含む試験管	反応の種類
1	試験管 A	発熱反応
2	試験管 A	吸熱反応
3	どちらも同じ	発熱反応
4	試験管 B	吸熱反応
5	試験管 B	発熱反応

正答 なし

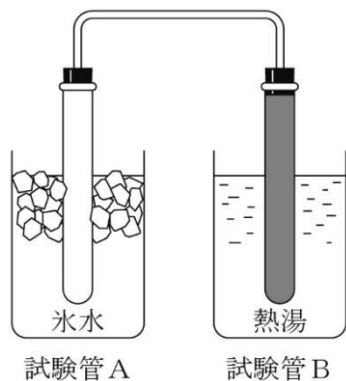


図7

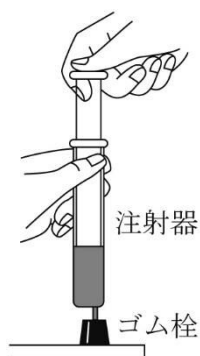


図8

7(1) 実験 I において、試験管Bの方が赤褐色が濃くなりました。このとき二酸化窒素が多く含まれている試験管はどちらですか。また、式①で右側に進行する反応は、発熱反応、吸熱反応のどちらですか。二酸化窒素が多く含まれている試験管と反応の種類のみ組み合わせとして最も適するものを、次の1～5から1つ選び、番号で答えなさい。 22

	二酸化窒素を多く含む試験管	反応の種類
1	試験管 A	発熱反応
2	試験管 A	吸熱反応
3	どちらも同じ	発熱反応
4	試験管 B	吸熱反応
5	試験管 B	発熱反応

正答 5

・ 商業

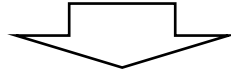
(誤) 3 この会社の当期末におけるデータを基に(1)～(3)の比率として適するものを、それぞれ下の1～4から1つ選び、番号で答えなさい。(2)は平均有高数値を用いる。比率に小数点以下の端数がある場合には小数第2位以下を四捨五入する。

【データ】 (単位:円)

流動資産	75,600	
固定資産	86,000	期首商品棚卸高 16,000
流動負債	54,000	期末商品棚卸高 14,000
固定負債	24,000	
資本金	80,000	
利益剰余金	3,600	
売上高	420,000	
経常利益	40,000	

(2) 固定比率
 1 28.7% 2 64.6% 3 90.4% 4 102.9% 正答 なし

(3) 商品回転率
 1 28回 2 30回 3 32回 4 34回 正答 なし



(正) 3 この会社の当期末におけるデータを基に(1)～(3)の比率として適するものを、それぞれ下の1～4から1つ選び、番号で答えなさい。(3)は平均有高数値を用いる。比率に小数点以下の端数がある場合には小数第2位以下を四捨五入する。

【データ】 (単位:円)

流動資産	75,600	
固定資産	86,000	期首商品棚卸高 16,000
流動負債	54,000	期末商品棚卸高 14,000
固定負債	24,000	
資本金	80,000	
利益剰余金	3,600	
売上高	420,000	
経常利益	40,000	

(2) 固定比率
 1 28.7% 2 64.6% 3 90.4% 4 102.9% 正答 4

(3) 商品回転率
 1 28回 2 30回 3 32回 4 34回 正答 1